

令和4年度 第2回 羽島市立図書館協議会会議要旨

日 時	令和4年11月9日(水) 午後1時30分～午後3時00分
場 所	図書館2階研修室
出席者	<p>【図書館協議会委員】任期：令和4年5月1日から令和6年4月30日</p> <p>図書館協議会委員 小川 和彦 (学校教育関係者)</p> <p>図書館協議会委員 森田 恵子 (社会教育関係者)</p> <p>図書館協議会委員 坂田 田壽子 (家庭教育関係者)</p> <p>図書館協議会委員 柳川 禎章 (学識経験者)</p> <p>図書館協議会委員 木下 慎一郎 (学識経験者)</p> <p>図書館協議会委員 赤地 奈津美 (市民公募者)</p> <p>【事務局】</p> <p>&lt;市民協働部長&gt; 伊藤 佳津子 &lt;図書館長&gt; 番 重宗</p> <p>&lt;図書館長補佐兼総務係長兼図書係長&gt; 高井 依里香</p>
内 容 報告事項 協議事項	<p>1 委員長挨拶</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 第17回手づくり絵本コンクールについて</p> <p>資料に基づき事務局より報告</p> <p>&lt;委員&gt; 子ども達が入賞作品に触れる機会があれば応募作品が増えると思う。以前は入賞作品を各学校へ展示していたこともあったと記憶している。</p> <p>&lt;事務局&gt; 現在は金賞を受賞した作品は製本し、市内の小学校へ配付しているほか、図書館内で閲覧できるように展示している。</p> <p>&lt;委員&gt; 展示している作品は、手に取って読めるという案内表示はしているのか。</p> <p>&lt;事務局&gt; 表示している。</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 羽島市子ども読書活動推進計画(第三次)案について</p> <p>資料に基づき事務局より説明</p> <p>&lt;委員&gt; 学年が上がるにつれて図書館の利用頻度が下がるという課題が挙げられているが、これは学校生活を考えれば当然の状況である。高学年児童が図書館を利用する時間を設けるなど具体的な取組を実施しなければ改善は難しい。</p> <p>すでに達成している学校図書標準充足率で目標設定をするのではな</p>

く、図書の回転率や1回も借りられなかった本の割合等を設定してはどうか。

<事務局> 関係課と協議し検討する。

<委員> 「誰ひとり取り残さない読書環境の整備」という表現は抽象的ではないか。

<事務局> SDGsの表現を引用した。表現について再検討する。

<委員> 今まで本に触れてこなかった人を対象にした、例えば他業種を巻き込んだ大胆な施策の必要性を感じる。

<委員> 「幼稚園・保育園・認定こども園」と「小・中学校・義務教育学校」を分けた基本方針を設定しているが、学校という分類であれば、幼稚園と学校は同じ分類に入れた方がよいのではないか。

<事務局> 年齢で分類している。表記の仕方を検討する。

<委員> 「図書担当」という表記があるが、そのような言葉があるのか。

<委員> 各学校には、市の会計年度任用職員として図書整理員が在籍している。学校職員としては図書館担当がおり、名称も図書主任など混在している。これらを包括して「図書担当」という表記だと認識している。

<委員> 図書主任会は、各校で実施するのか市が各校職員を集めて実施しているのか分かりにくい。

<事務局> 市教育委員会が集めて実施している。

#### 4 その他

(1) 羽島市子ども読書活動推進計画（第三次）今後の策定スケジュールについて  
事務局より説明

#### 5 閉会